

今週のお祈り 聖霊降臨日特禱

全能の神よ、この日あなたは、約束された聖霊の降臨によって、すべての民族、国民に永遠の命の道を開かれました。どうか福音の宣教によって、この聖霊がますます世界に注がれ、地の果てにまで広がりますように、父と聖霊とともに一体であり、世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 302

発行日
2026年
5月24日

今日は聖パウロ教会にとって150歳の誕生日。そのときは明治時代で、聖パウロ教会の人々は、聖霊に満たされて、神さまの言葉を多くの人々に熱く語り、いくつもの新しい教会を建てていったのです。



今週の聖書 使徒言行録 2:1-11
1 五旬祭の日が来て、皆が同じ場所に集まっていると、2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から起こり、彼らが座っていた家中に響いた。3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。4 すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、他国の言葉で話しました。5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国出身の信仰のあついな人々が住んでいたが、6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、誰もが、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あつげにとられた。7 人々は驚き怪しんで言った。「見ろ、話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。8 どうして、それぞれが生まれ故郷の言葉を聞くのだろうか。9 私たちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、10 フリギア、パンフィリア、エジプト、リビアのキレネ側の地方に住む者もいる。また、滞在中のローマ人、11 ユダヤ人や改宗者、クレタ人やアラビア人もいるのに、彼らが私たちの言葉で神の

聖書からのメッセージ

「神さまの息吹」

主教 高橋 宏幸

風や空気、息などは目には見えません。けれども、感じることはできます。風は、爽やかな心地よい風から、時には建物までをもなぎ倒す程の力を持っています。また、空気がなかったり、息を吸ったり吐いたりできないと、私たちは生きていくことそのものが難しくなります。聖書に出てくる「聖霊」という言葉には、「風」とか「息」という意味があります。しかも、それはただの風や息ではなく、私たちが人間を生かし、励まし、力づけ、慰めてくださる神さまが注いでくださる風や息です。私たちは、いつでも神さまによって生かされていることを感じながら、心から感謝したいと思えます。

偉大な業を語っているのを聞こうとは。」